



2023年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年11月6日

上場会社名 ザ・パック株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3950 URL <https://www.thepack.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山下 英昭
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役コーポレート本部長 (氏名) 藤井 道久 (TEL) 06(4967)1221
 四半期報告書提出予定日 2023年11月9日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年12月期第3四半期の連結業績（2023年1月1日～2023年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年12月期第3四半期	67,586	11.7	4,500	37.5	4,727	31.6	3,205	42.4
2022年12月期第3四半期	60,481	10.6	3,273	59.9	3,592	60.0	2,250	48.8

(注) 包括利益 2023年12月期第3四半期 4,379百万円 (65.5%) 2022年12月期第3四半期 2,646百万円 (23.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年12月期第3四半期	168.46	168.34
2022年12月期第3四半期	118.43	118.33

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年12月期第3四半期	94,107	68,476	72.7
2022年12月期	94,365	65,371	69.2

(参考) 自己資本 2023年12月期第3四半期 68,431百万円 2022年12月期 65,324百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年12月期	—	30.00	—	35.00	65.00
2023年12月期	—	35.00	—		
2023年12月期（予想）				43.00	78.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2023年12月期の連結業績予想（2023年1月1日～2023年12月31日）

(%表示は、通期は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	97,000	8.9	7,100	18.9	7,500	18.1	4,900	20.7	257.45

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年12月期3Q	19,900,000 株	2022年12月期	19,900,000 株
② 期末自己株式数	2023年12月期3Q	868,001 株	2022年12月期	890,661 株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年12月期3Q	19,025,837 株	2022年12月期3Q	19,004,243 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想等の将来に関する記述は、業績に影響を与える不確実な要因に係る仮定及び本日現在における入手可能な情報を前提としており、実際の業績等は様々な要因で大きく異なる結果となる可能性があります。

なお、業績予想に関しましては、【添付資料】P. 3「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴うアフターコロナへの転換期を迎え、対面型サービス業である外食や宿泊需要が増加しました。この他、製造業における復調の流れが継続し、インバウンド需要の回復や賃金上昇などもあって経済は緩やかに回復傾向にありました。その一方で、巣ごもり需要は一巡し、原油価格の高騰や為替相場の変動による影響が長期化したことで、生活必需品や資材価格の上昇を引き起こすなど依然として先行き不透明な状況が続いております。

米国の経済は、良好な雇用環境と実質賃金の上昇の他、輸送やヘルスケア、娯楽といったサービス消費が増加していますが、インフレ抑制に向けた金融引き締めは継続されており、景気後退への懸念が生じております。

中国の経済は、ゼロコロナ政策解除を受け輸出額は年初に増加したものの、住宅を中心とした不動産開発投資の減少幅の拡大や輸出の低迷によって景気減退の可能性があります。

このような状況の中、当社グループは、「進化 — パーパス経営・サステイナブル経営のスタート —」を中期経営計画のスローガンに掲げ、連結売上高1,070億円、営業利益70億円（2025年12月期）の達成を目標としており、グループ全社が結束して新たな市場開拓、積極的な設備投資、品質管理の改善などにより業績の向上に努めてまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の経営成績は、売上高は675億86百万円（前年同期比11.7%増加）、営業利益は45億円（前年同期比37.5%増加）、経常利益は47億27百万円（前年同期比31.6%増加）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は32億5百万円（前年同期比42.4%増加）となりました。

セグメントの業績は、次の通りであります。

(紙加工品事業)

当第3四半期連結売上高の70.7%を占めるこの部門では、紙袋（対連結売上高構成比29.1%）は、国内における個人消費の増加と観光需要の回復が持続していることもあり、同上売上高は196億78百万円（前年同期比14.5%増加）となりました。

紙器（同上構成比25.5%）は、テイクアウト用の食品向けパッケージの販売や食品を中心とした土産物市場が好調に推移した結果、同上売上高は172億39百万円（前年同期比15.2%増加）となりました。

段ボール（同上構成比13.6%）は、メーカー向けの販売並びにEC市場向けパッケージの販売が前年並みに推移し、同上売上高は91億84百万円（前年同期比3.1%増加）となりました。

印刷（同上構成比2.5%）は、株式会社京浜特殊印刷、日幸印刷株式会社ともに売上が堅調に推移し、同上売上高は16億93百万円（前年同期比7.5%増加）となりました。

以上により、この部門の売上高は477億96百万円（前年同期比12.1%増加）となり、営業利益は42億6百万円（前年同期比37.3%増加）となりました。

(化成品事業)

当第3四半期連結売上高の14.7%を占めるこの部門では、紙おむつ用製品並びに食品向け軟包装の販売が引き続き堅調に推移したことに加えて、個人消費や訪日外国人の増加に伴うインバウンド需要の回復もあり、通販や専門店向けの販売も堅調に推移した結果、同部門の売上高は99億26百万円（前年同期比22.3%増加）となり、営業利益は4億56百万円（前年同期比44.0%増加）となりました。

(その他)

当第3四半期連結売上高の14.6%を占めるこの部門では、コロナワクチン関連の販売が減少したものの、専門店向けの縫製品や不織布バッグの販売が堅調に推移したことにより、同部門の売上高は98億64百万円（前年同期比1.5%増加）となり、営業利益は7億41百万円（前年同期比18.2%増加）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ2億58百万円減少し、941億7百万円となりました。これは主に「建物及び構築物」20億50百万円・「土地」19億9百万円・「無形固定資産」15億28百万円・「商品及び製品」13億77百万円の増加、「受取手形及び売掛金」52億19百万円・「有価証券」29億円の減少によるものです。

当第3四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末に比べ33億63百万円減少し、256億30百万円となりました。これは主に「支払手形及び買掛金」22億60百万円・「未払法人税等」5億60百万円の減少によるものです。

当第3四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べ31億5百万円増加し、684億76百万円となりました。これは主に「利益剰余金」18億73百万円・「その他有価証券評価差額金」8億97百万円の増加によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2023年8月7日に公表しました内容から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	16,163	16,496
受取手形及び売掛金	23,886	18,667
有価証券	12,500	9,600
商品及び製品	6,015	7,392
仕掛品	1,032	1,230
原材料及び貯蔵品	1,108	1,016
その他	792	1,106
貸倒引当金	△14	△17
流動資産合計	61,484	55,492
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	6,132	8,183
機械装置及び運搬具（純額）	5,641	6,440
工具、器具及び備品（純額）	348	352
土地	8,539	10,448
建設仮勘定	3,068	1,412
有形固定資産合計	23,729	26,837
無形固定資産	1,044	2,572
投資その他の資産		
投資有価証券	6,746	7,934
繰延税金資産	421	202
その他	992	1,121
貸倒引当金	△53	△54
投資その他の資産合計	8,106	9,204
固定資産合計	32,881	38,614
資産合計	94,365	94,107

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	14,370	12,110
電子記録債務	6,689	6,368
1年内返済予定の長期借入金	25	25
未払法人税等	1,349	788
賞与引当金	291	842
役員賞与引当金	45	32
その他	3,283	2,670
流動負債合計	26,054	22,838
固定負債		
長期借入金	34	15
繰延税金負債	431	465
退職給付に係る負債	2,294	2,231
その他	178	79
固定負債合計	2,939	2,792
負債合計	28,994	25,630
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,553	2,553
資本剰余金	3,166	3,156
利益剰余金	60,654	62,528
自己株式	△2,661	△2,592
株主資本合計	63,713	65,645
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,391	2,288
繰延ヘッジ損益	△3	6
為替換算調整勘定	89	362
退職給付に係る調整累計額	134	128
その他の包括利益累計額合計	1,611	2,785
新株予約権	46	45
純資産合計	65,371	68,476
負債純資産合計	94,365	94,107

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)
売上高	60,481	67,586
売上原価	46,015	50,678
売上総利益	14,465	16,907
販売費及び一般管理費		
運賃及び荷造費	2,839	2,943
給料及び手当	2,826	3,131
役員報酬	315	399
貸倒引当金繰入額	8	9
賞与引当金繰入額	364	442
役員賞与引当金繰入額	20	29
退職給付費用	187	179
減価償却費	284	363
賃借料	2,055	2,247
その他	2,289	2,659
販売費及び一般管理費合計	11,192	12,407
営業利益	3,273	4,500
営業外収益		
受取利息	93	117
受取配当金	76	76
受取賃貸料	36	30
受取補償金	65	-
為替差益	21	-
その他	44	23
営業外収益合計	336	247
営業外費用		
支払利息	1	2
賃貸収入原価	6	3
投資事業組合運用損	-	8
為替差損	-	3
その他	8	3
営業外費用合計	17	20
経常利益	3,592	4,727
特別利益		
投資有価証券売却益	0	0
固定資産売却益	1	0
国庫補助金	-	49
特別利益合計	1	49
特別損失		
固定資産売却損	0	-
固定資産除却損	21	42
投資有価証券評価損	23	-
投資有価証券売却損	64	-
減損損失	188	-
固定資産圧縮損	-	49
特別損失合計	298	92
税金等調整前四半期純利益	3,296	4,684
法人税、住民税及び事業税	1,133	1,607
法人税等調整額	△86	△127
法人税等合計	1,047	1,479
四半期純利益	2,248	3,205
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△1	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,250	3,205

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	2,248	3,205
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	6	897
繰延ヘッジ損益	15	10
為替換算調整勘定	386	272
退職給付に係る調整額	△11	△6
その他の包括利益合計	397	1,173
四半期包括利益	2,646	4,379
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,647	4,379
非支配株主に係る四半期包括利益	△0	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。